

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	GLP枚方Ⅲプロジェクト	階数	地上5F
建設地	大阪府枚方市長尾谷町1丁目21番地	構造	RC造
用途地域	工業専用地域、法22条地域	平均居住人員	829 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2018年6月12日
敷地面積	52,077 m ²	作成者	株式会社奥村組 草田 友厚
建築面積	24,130 m ²	確認日	2018年6月13日
延床面積	116,968 m ²	確認者	株式会社奥村組 草田 友厚



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 78%

③上記+②以外の 78%

④上記+ 78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR のスコア = 3.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 ドライバー控室・シャワー室の設置や各階にリフレッシュスペース等により、執務環境だけでなく建物を利用者の環境に配慮した。免震装置の導入、品確法劣化対策等級3相当として建物全体の耐用性を高めるとともに、井水利用に加えて防災時には地域開放する防災スペースを確保する等、建物の信頼性にも配慮した。敷地周辺には緑化ゾーンを配置し、周辺環境との調和に配慮した。		その他 特になし
Q1 室内環境 室内はF☆☆☆☆をほぼ全面に使用し、断熱銅板パネルにより温熱環境を整える等、室内環境に配慮した	Q2 サービス性能 免震装置の導入や、品確法劣化対策等級3相当、外壁・内壁にはそれぞれ補修・更新必要間隔が長い材料を採用する等、建物全体の耐用性を高めるよう配慮した。また、節水器具の採用や、井水利用や非常用発電設備を設置する等、災害時にも対応できる信頼性の高い建物になるよう配慮した。ゆとりのある階高、空間の形状・自由さにも対応できるよう配慮した。各フロアにはリフレッシュコーナーを設置し、建物使用者の心理的・身体的健康に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周囲には植栽の丘と木々でつくる「緑のスクリーン」を配置し、敷地の内外をゆるやかにつなぐ木陰の空間とした。敷地南東部には訪れる人をもてなす、華やかな花を織り交
LR1 エネルギー LED照明を採用し、設備システムの高効率化に努めた	LR2 資源・マテリアル エコマーク認定品であるフリーアクセスフロアを採用するなど非再生性資源の使用量削減に努めた。有害物質を含まない接着剤やノンフロン発泡剤(断熱材)を採用し、汚染物質含有材料の使用回避に努めた	LR3 敷地外環境 適切な量の自転車置場と駐車スペースを確保する等、地域環境への配慮を行った

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0146

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

【建物概要】	建物名称	GLP枚方Ⅲプロジェクト					
	建設地	大阪府枚方市長尾谷町1丁目21番地1他					
	用途/区分	工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					4	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

【評価項目】							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			3.8	4	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体	5.0	4		
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0			
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0			
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		5.0			
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0			
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4			
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			3.0		
その他							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							